

オプション検査のご案内

肺マルチスライスCT

2～3回の息止めで肺全体を撮影し撮影と同時に複数の輪切り像が得ることが出来ます。通常の胸部レントゲンでは発見できない、微細ながんを検出することが出来ます。撮影した画像データはCD-Rにて送付いたします。



乳がん検診（マンモグラフィ・乳房超音波検査）

日本人女性における乳がん罹患率（乳がんにかかる確率）が上昇しております。人間ドックでは、乳房超音波検査とマンモグラフィを取り入れ、積極的に乳がん検診を行っております。より精度の高い診断を行える乳房超音波検査とマンモグラフィの併用検診をおすすめしています。

乳房超音波検査は人の耳に聞こえない音の反射の様子を画像にし、数ミリのしこりを見つけ出すことが出来ます。痛みを伴うこともなく、放射線被ばくを受けることもありません。

マンモグラフィは、乳がんを早期で見つけるために有効な画像診断です。乳房超音波検査では発見しにくい、しこりになっていない早期乳がんの微細な石灰化も発見することが出来ます。乳房内部の様子を鮮明に写し、放射線被ばく量を少なくするため、可能な限り乳房を薄くのばし圧迫して撮影するため痛みを伴うことがあります。脂肪性に富み、乳腺の退縮しているとくに40代以上の女性に適しています。スタッフは精度管理中央委員会認定の女性技師が担当しています。

子宮頸がん検診

婦人科医師による内診・細胞診・経膈超音波検査を行います。子宮・卵巣の腫瘍の早期発見等、病変の有無を調べます。子宮の手術を受けた事のある方は、お申し込み時にご相談ください。

甲状腺超音波検査

甲状腺は、頸部の前側に位置する蝶形のホルモン産生臓器です。甲状腺で作られたホルモンは、私たちの体の中の代謝を調整する重要な働きをしています。

甲状腺の腫れは、甲状腺ホルモンの過剰や欠乏のサインであるとともに、腫瘍の存在を表していることがあります。しかし、甲状腺という臓器は、体の体表にあるにもかかわらず、自分の触診ではなかなか気づくことが難しいところです。

日本人の統計では、甲状腺にできる腫瘍の約20%が悪性といわれています。甲状腺超音波検査では、触診ではわからない小さな腫瘍を検出することができ、がんの早期発見・治療につながります。

骨塩定量検査(DEXA 法)

骨の病気である骨粗鬆症やダイエットによる骨量減少など定期的な健康診断により骨量減少を早期に発見し、骨の健康状態の情報を数字で指標することで適切な予防法や治療指導を行うことができます。

骨塩定量検査は、X線の被ばく線量が胸部X線撮影の約 10 分の 1 程度とごくわずかで、骨粗鬆症の診断の基準となる腰椎、正面側面測定を高速で測定出来るため、より細かな測定データによる診断を行うことができます。

特に高齢者や閉経後の女性におすすめします。



腫瘍マーカー血液検査

腫瘍（癌など）に関連した血液検査です。採血した血液を調べるだけなので、身体に負担なく、簡単に検査できます。（ただし、腫瘍マーカーは個体差の大きい検査で、これ単独で判断することは困難です。癌があっても正常値であったり、癌がなくても異常だったりすることがあるので注意が必要です。）

CEA

胃癌、大腸癌、肺癌などで、医学用語で「腺癌」と呼ばれる腫瘍で上昇することが多い物質です。

CA19-9

膵癌、胆管系の癌などで上昇することが多い物質です。

CA125

卵巣癌・子宮癌等で上昇することが多い物質です。腹水や炎症等でも著明に高くなることがあります。

AFP

肝細胞癌で上昇することが多い物質です。C型慢性肝炎等の慢性肝臓病の方に特に有用な検査です。

PSA

前立腺癌で特異的に上昇する腫瘍マーカーです。PSA は前立腺癌の早期発見に対する評価が高まっており、検診としての腫瘍マーカーの中では特に優秀なものといえます。

喀痰検査

肺がんの検査です。痰を3日間専用の容器に採取していただき細胞診検査を行います。

なお、オプション検査のみのお申し込みは受付しておりません